

議会報告会報告書

平成28年 1月14日

小田原市議会議長
武松 忠 様

報告者 議会広報広聴常任委員長
井上 昌彦

議会報告会の結果について、次のとおり報告いたします。

日 時	平成27年11月15日(日曜日)午後1時00分 ~ 午後2時30分			
場 所	ハルネ小田原 ハルネ広場			
出席者	武松 忠	俵 鋼太郎	井上 昌彦	鈴木 紀雄
	浅野 彰太	神永 四郎	鈴木 和宏	安野 裕子
	小松 久信	大村 学	篠原 弘	田中 利恵子
	奥山 孝二郎	鈴木 美伸	安藤 孝雄	
参加人数	78名			
報告内容	9月定例会の審議結果 / 小田原駅前の機能配置			
主な質疑・意見等	別紙のとおり			
その他	議会運営及び市政全般に関する意見交換			

< 主な質疑等について >

【総務常任委員会】

なし

【厚生文教常任委員会】

意見

・芸術文化創造センター建設に向けて議会も真剣に取り組んでもらいたい。

質疑

・市民会館は20億円の予算を使って補修をした後、何年持つのか。芸術文化創造センターは建設するのか、しないのか。

答弁

・市民会館の改修に21億円がかかっている。4案の中でどれにするのかをサウンディング型市場調査を行っている。17日に議員説明会で説明がなされた後、厚生文教常任委員会が開催される。その際、方向性が示されると聞いている。

質疑

・市民会館は現状のままなのか。芸術文化創造センターは計画してから何年たっているのか。27年ですか。

答弁

・市民会館の建て替えの観点で言えば、平成3年か4年である。紆余曲折でここに至っている。用地取得等の問題、裁判所の建て替え等により、用地変更をせざるを得なかったなどいんな要因があった。

質疑

・芸術文化創造センターの4つの案の中から、行政が方向性を決めて、議員説明会を行うと聞いたが、市民は全く聞いていない。いつ行政が決めたのか。市民との意見交換会を1回やっているが、市民の意見を聞くということで今やっているが、行政側が4つの中から1つを選ぶというのは、どういうことなのか。

答弁

・議長に事前にどのやり方でこれからの入札不調を解決していくかということで相談があった。その際に何案かのメリット、デメリットを示した上で説明をということで8月31日の議員説明会があった。9月8日に厚生文教常任委員会があり、9月19日には市民説明会があった。その席では、設計者である新井千秋氏が出席し・・・

質疑

・市民説明会ではなく、市民意見交換会なんです。市民意見交換会といいながら、実態は市民説明会だった。市が4案の中から1つを選んで議会に説明するというのは本当なのか。

答弁

・そのとおり。

質疑

・議案第76号 地域包括支援センター条例の議決、どういう部分を改正したのか。大きな変化があったのか。

答弁

・資料が手元にないので、個別に回答をさせていただきたい。

介護保険法の条項に移動が生じたことに伴い、当該移動が生じた条項を引用する規定を整備したものである。

質疑

・日常介護総合支援への移行の報告を受けたとのことであるが、スケジュールがタイトであり、事業者に情報が降りて来ない。詳しい報告は議会にあったのか。議会のチェックは。

答弁

・報告事項の中で説明を受けた。国が早期移行をうながしているが、市も移行時期を平成28年1月としたいとしているが、細かいところまでは、説明を受けていない。所管に意見を伝えたい。

意見

・厚生文教常任委員会をお願いをしたいが、移行の時期が他市に比べて早い。議会として行政の進め方をチェックしてもらいたい。

質疑

・芸術文化創造センターについて、市議会のほうから案を考えて提案していくという考えはないのか。

答弁

・8月31日の議員説明会、9月8日の厚生文教常任委員会、9月19日の意見交換会を踏まえて、今月の17日の議員説明会で説明がなされた後、厚生文教常任委員会で詳しいことが出されるので、それを受けてということになると思うが、議会としてということはない。

質疑

・個々の議員が提案するかもしれないし、誰もやらないかもしれないということで解釈していいのか。

答弁

・誰もやらないというのは語弊があるかもしれないが、それぞれの議員が自分の考え方で動くし、これまでもそうしてきた。

【建設経済常任委員会】

質疑

・地下街ハルネのパブリックビューに「美しき日本」が流れているが、キャプションがない。市議会の中で質問をしてもらいたい。

答弁

・議会が出しているものではないが、この映像は市がJR東日本にお願いしたか、共同で作ったものであり、キャプションがないのは、映像に配慮したものと思われる。

質疑

・小田原競輪、趣味の多様化で客数は減っている。1億円のもうけでも存続するのか。議会で議論はあるのか。施設の老朽化も著しい。特別競輪も1度も開催していない。存続の議論を議会でもするべきである。

答弁

・競輪場については、御指摘のとおり、施設も老朽化しており、また、現実には売り上げも下がっている。この件については、いろいろなところから意見をいただいており、議論し、調整しているところである。個人的には、文教地区にいかがなものかなとは思っているが、議会としては、見過ごしているというわけではないので、御意見として拝聴したい。

質疑

・議案第70号の予算で、スタンドの改修、7億円だか9億円がついている。工事中であるが、加藤憲一市長は、2008年の市長就任の際の最初の議会で言っているが、競輪は廃止する方向で検討すると言っている。補正予算を議論する際に、どのような議論があったのか。

答弁

- ・競輪場の改修、平成27年度の当初予算で9000万円。7億円ではない。バンクの改修に3000万円、客席の改修に3000万円、非常発電装置に3000万円となっている。競輪場については、たしか風致地区なので、大規模改修はできない。だから7億円ものお金を使うものはない。

【小田原駅前周辺の機能配置】

意見

- ・複合集客施設は、市で計画しているが、オリンピック前にできるという予測とのことだが、芸術文化創造センターがこのような状況で、本当にできているのか。市当局にこういった意見があったことを伝えてもらいたい。

質疑

- ・市が決めたという報告であって、議会が決めたわけではない。こういう場で聞きたいのは、議会の中でどんな意見交換があったのか、議論の中身を聞きたい。その辺を報告してもらいたい。

答弁

- ・昨日も議論のプロセスを知りたいというご意見もあった。機能配置の絵があったが、様々な事業が所管またがって個別に議会に報告がなされており、全体像を前期の常任委員会で要求して作らせた。そこでの議論としては、市民会館の会議室機能が分散してしまうとの指摘、市民会館はホール機能と会議室があるが、芸術文化創造センターはホール機能のみであり、市民会館の年間利用者は30万人、芸術文化創造センターは10万人で、エリアの活性化に繋がるのかとの指摘があった。

【意見交換会】

議会報告会の運営方法について

質疑

- ・報告会の感想、集合施設の報告は、行政の下請けみたいだ。議会としてどういう形をとるのがないの意味がない。9月20日くらいに芸術文化創造センターの意見交換会があり、2ヶ月経ったが、市のほうからなんらかの報告、意見交換会の開催を期待していたが、11月17日に方向性が決まるということで、意見交換会の意味はあったのか。このことに対する議員の感想を聞きたい。

答弁

- ・この場では意見を表明しづらい。各議員の報告会で対応してもらいたい。今後の市民への説明のタイミングは、17日に説明を受けた中で明らかになるので、それまで待ってもらいたい。

質疑

- ・芸術文化創造センターの件で、結果を議員に報告するとの発言が議長からあったが、それは市のほうから結果報告が来るのか、経過報告が来るのか。

答弁

- ・17日は、内容としては経過報告となると思われるが、どこまでの結果となるかは分からない。

意見

- ・経過報告になると思うので、きちんとした形で報告をしてもらいたい。

議事運営に関すること

意見

- ・一般質問を40分使っているが、質問の内容、6、7割が自分の宣伝ばかり。10分短縮したらどうか。これは考えていただきたい。質問が希薄。この質問をすることによって、行政が動くことを確約させる必要があるが、踏み込みが甘い。

質疑

- ・決算特別委員会は全議員型としたが、以前と比べて、審査は充実しているのか。

答弁

- ・前期の2年目から予算、決算の審査方式を変えた。選抜方式では、予特で審査した内容を本会議で議員が一般質問をした事例があった。分科会方式は全体は見れないが、自分が所属している委員会において、補正予算等を把握した上での審査ができることがあり、全体参加としたが、デメリットは、自分の所属外の委員会の質問ができない。横断事業もあるし、駅前の3大懸案のことも質問できないのはまずいということもあり、予算は会派選出の方式に戻す。メリット・デメリットはあるが、工夫をしたい。

市政その他執行機関に関すること

質疑

- ・アークロードで座るところがあるが、もう少し座る場所を確保してあげたらどうか。

答弁

- ・以前ベンチを設置していたが、ホームレスが寝てしまうので、そういったクレームが入ったため、現在の個別の椅子になった。

質疑

- ・増やすことはできないのか。

答弁

- ・場所、人の流れを確認しないと、その話は私からはできない。

質疑

- ・小田原市立病院が老朽化しており、改修の優先順位を上げてもらいたい。

答弁

- ・古い施設であり、入院患者からクレームもある。これについては、建設検討委員会が昨年度開かれ、再建の方向が決まっている。現在は実施方法を検討している。

質疑

- ・2年前に小田原に来たが、小田原駅は観光客への情報提供が不十分である。例えば観光案内の地図の北が斜めになっている。通常は真上。市内の観光案内はすべて北を真上にしてもらいたい。大きな時計をつけるべき。

意見

- ・20年前に小田原市に戻ってきて飯泉に住んでいる。鴨宮が発展してきたが、飯泉から鴨宮へのバスがない。地域交通の充実を願う。